

中田 國太郎 選 投稿数18首

銀盤にトリプルアクセル華麗なる浅田選手の闘志に喝采
 (評) 日本の老若男女の殆どが、手に汗を握り、バンクーバーの氷上の妖精の演技を見つめたと思う。十九歳の浅田選手の体力と人智の極限のフィギアの美が氷上に展開されたが、この感動を首にまとめるには、作者にかなりの力量がないと不可能である。結句の「闘志に喝采」に強く共感した。これも、韓国のよきライバルがいたのも幸運だった。スケートを詠んだ春日井建の歌「青年の氷跡をたどり滑りゆけば愛は刃身に研がれてゆけり」金子作、「当てにこれ」が生きがいのある。新井作、「魚の香漂う」の表現に旅行の姿が浮かぶ。眞下作、「手話交わしつ」に人間の温もりを感じる。
 当てにこれ明日も生きる我ならば祭のポスター引受けて描く 皆野 金子善次郎
 JAの土の匂いのバス旅行帰りの車中魚の香漂う 皆野 新井 茂
 「ありがと」と「さよなら」の手話交わしつ見学終えし授産所を辞す 三沢 眞下 杏子
 鳥の声風の過ぐ音聞きながら伸ばす背筋に春をこほぐ 三沢 新井 民子
 災ひは忍び寄るもの音もなく避ける術なき夫命と知る 三沢 新井 民子
 日溜まりの石机にて茶をすすめる目白と孫と夫と私と 三沢 鈴木 貞恵
 警察庁テレビ映れば父訪いし若き日浮かぶ朝餉になりぬ 上日野沢 四方田利男
 書道展一位の入賞吉報に吾が娘の笑顔に賞賛したり 皆野 塩田 千代
 唐草の中であやつる獅子頭大きく振って福を置きゆき 三沢 横田ハルジ
 涙してフィギアを見つっドキドキと心躍らす如月の一日 金崎 山田 雅子
 今朝の庭めぐりて気づくは嬉しかりスマイレの花の寄り添ひて咲く 皆野 笠原三江子
 彼の世にも四季はありしか健康か先祖等偲びつ花など手向く 下日野沢 浅見 豊子

引間 豊作 選 投稿数22句

末黒野を踏まじと踵返しけり
 (評) 末黒野とは、昨冬来の野原の枯草を一度きれいに焼き払って新しく草を芽吹かせる為、早春の頃火を掛けて野焼きをした跡の黒々とした焼野のことで、「焼野の雉夜の鶴」は親が子を思う情の切なるたとえでもあるが、雉の営巣はさり気ない草叢であり、そこにろりと卵を生むので野焼きの火に包まれた事もあつたはず。作者は心のどこかにそんな思いが甦り、末黒野に踏み入らず戻つて来たとの心暖まる作品になっている。三月の草、未だ凍て気味の地面、引き剥がすに喝采。
 三月の草大地より引き剥がす 猫柳川の反ね日に耀える 金沢 飯嶋満寿子
 三沢 眞下 杏子 三人の孫へ三組のひな飾る 皆野 新井 茂
 小鳥らと香り分け合う梅の園 皆野 根岸 詩子 人けなき家に日差しや福寿草 下日野沢 引間富美子
 一山の竹うねらせて雲雀東風 三沢 新井 民子 古い寄りて昔話の春炬燵 皆野 関根 助市
 梅の香や犬と散歩の歩を阻む 皆野 豊田喜美恵 ポイントを春に切替え作業順 皆野 植竹美恵子
 郷びとに花片栗の応へ咲き 金沢 青木富佐子 廃屋に節分草咲き人恋うる 三沢 新井 弘延
 痺れる手治癒の祈りと二月灸 下日野沢 高山 ユウ 三沢 新井 弘延

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 8日必着 1人1句、1首に限ります。

みんなのみんなの花めぐりスタンプラリー

7月31日(土)まで

花の開花にあわせて設置する「花のスタンプ」と「ボーナススタンプ」で5ポイント以上集めて応募すると、抽選で宿泊券などのすてきな賞品があたります。

花のスタンプ

- カタクリ・アジサイ(金沢浦山)
- 菜の花(みなのおアシス花の公園)
- 桜・山つつじ・アジサイ(美の山公園)
- スイセン(水と緑のふれあい館前)
- つつじ(野巻桜ヶ谷花と香りの森)
- 創作芝桜(金沢諏訪平)
- ポピー(秩父高原牧場)
- ヘメロカリス(金沢出牛)

ボーナススタンプ

- 水と緑のふれあい館
- いこいの村ヘリテイジ美の山
- JAちちぶ皆野農産物直売所

応募用紙設置場所

- 各スタンプ設置場所
- 役場産業観光課
- 秩父鉄道皆野駅
- 秩父鉄道親鼻駅

問合せ 産業観光課商工観光担当
 ☎62-1462